

宇治田原町	人口 世帯数	8,850 人 3,855 世帯	面積	(65歳以上割合 31.91%) 58.16 km <sup>2</sup>
<b>1 地域福祉計画の策定状況</b>				
計画の種類 単独で策定				
計画期間 R4 ~ R8				
計画の特徴 みんなの絆を育み 次代に伝える「福祉のまち」宇治田原 —「自立と支えあい・助けあい」のしくみづくり—				
<b>2 地域福祉の課題・特性等について</b>				
<p>大部分の地区において何代も昔から住んでいるという世帯が多く地域の繋がりは強いが、新興住宅地においてはその限りではない。人間関係が希薄になっている現在でも地域の繋がりが強いことは孤立を防ぐのに有効である。他方、地域資源という面においては脆弱である。医療機関、高齢者施設（入所施設、ショートステイ、デイサービス、リハビリ施設）、障がい福祉サービス事業者 など、担い手が非常に少なく多くの場合選択の余地がない。また、定年延長などにより長く就労する人が多くなり、地区の役員や民生委員・児童委員などの担い手が少なくなっている。元気な活動できる人材は仕事をしており、ごく限られた人が複数の役を担っており、どの会合に行っても同じ顔触れになっている。貧困家庭は都市部に比較すると割合は低いものの存在しており、こども食堂は弁当配布による宅食実施がされているものの、子どもが集う場所としてのこども食堂は存在しない。</p>				
<b>3 包括的支援体制の整備に向けた庁内連携体制等の検討状況について</b>				
<p>【検討の主幹部署】福祉課  【検討の参加部署】健康対策課 子育て支援課  【検討の参加関係機関】宇治田原町社会福祉協議会</p> <p>【検討状況・実施状況】  現状で福祉課において障がい者福祉、高齢者福祉（高齢者の地域包括支援センターも直営で実施）、生活困窮者に対応しており、多くの困りごとに対しワンストップで対応している。また健康対策課、子育て支援課、そして社会福祉協議会と常に連携しており包括的な支援体制は実質構築できている。</p> <p>【包括的な支援体制の構築に係る課題】  職員は地域包括支援センターの専門職以外は福祉分野の教育を受けていない一般事務職であり、かつ人事異動により数年ごとに職員が変わるため、知識を深めることが困難である。</p>				
<b>4 地域における社会資源の状況（連携状況と活動支援状況）について</b>				
<p>【社会福祉協議会の活動】  社会福祉協議会は職員が少数であるうえ、住民へ密接な支援を行っている。その分、各ケース対応に多くの時間や労力が必要となっている。また多種にわたる支援内容を行うため常に業務多忙である。町とは常に連携しており、密に情報を共有している。</p> <p>【連携状況】  町内にNPO法人はなく、また福祉分野に関する企業も操業していない。高齢者施設を運営している社会福祉法人や障害者施設を運営している社会福祉法人とは密に連携している。</p> <p>【支援状況】</p>				
<b>5 地域福祉（地域共生社会の推進）に関する取り組み（好事例）について</b>				